

# 二級建築士合格までの道のりと祖父への想い

今回は、秋田職業能力開発短期大学校（以下、秋田職能短大）現役学生で、二級建築士の合格を勝ち取った住居環境科2年の上山ひなのさんを

紹介します。

令和2年度以降の建築士法改正により、二級建築士の受験資格において実務経験が問われなくなり、工業高校の指定学科を卒業した学生は短大在学中に取得することができるようになりました。上山さんはこの制度改正により受験が可能になりました。

最初に上山さんから建築士を目指すようになったきっかけや合格までの道のりについて聞きました。

「建築士を目指すきっかけは、小学生の頃からテレビよく見ていたリフォーム番組です。自分もいつかこんなこ

秋田職能短大2年

上山ひなのさん

とができればいいなと思っていました。また、大好きな祖父が木工で、よく祖母と一緒に新築現場に遊びに行っていたことも大きいと思います。

と聞いて、秋田職能短大に進学しました。その延長線上に建築士の勉強がありました。

どんな状況でも毎日勉強することを心掛けた。何とか学科の合格を勝ち取ることができましたが、そこからがとても大変でした。学科の合格発表後、製図の試験まで残り1カ月でした。学校の総合制

「これから建築士を目指す方は、『隙間時間』を見つけて、積極的に勉強をすることが大事だと思います。」最後に、今後の展望について聞きました。



3DCADで図面を描く上山さん

勉強中には、自動車免許取得とアルバイトを掛け持ちでこなしていたので大変でしたが、机の上に教材を置いて、

「子供の頃から少しずつ大きくなっていった建築士への思いを形にした上山さん。大好きな祖父との約束である一級建築士取得への想いは動き始めています。今後の活躍を職員一同見守ってまいります。」